

2023年5月22日
日本シッパード株式会社
三菱造船株式会社

日本シッパードと三菱造船、外航 LCO₂ 船の共同開発に関する検討を開始 CO₂ の大規模海上輸送時代に向け、両社の強み・知見を活用

- ◆ 日本シッパードの商船・海洋での豊富な建造経験・高度な造船技術力と三菱造船の液化ガス輸送船建造に関する知見を活用
- ◆ 日本シッパードにおける 2027 年以降の竣工を目指す



外航液化 CO₂ 輸送船 (LCO₂ 船) のイメージ図

今治造船株式会社とジャパン マリンユナイテッド株式会社の共同営業設計会社である日本シッパード株式会社(社長: 前田 明德、本社: 東京都千代田区、以下、日本シッパード)ならびに三菱重工グループの三菱造船株式会社(社長: 北村 徹、本社: 横浜市西区、以下、三菱造船)は、外航液化 CO₂ 輸送船 (LCO₂ 船) の共同開発に向けた検討を開始しました。日本シッパードにおける 2027 年以降の竣工を目指し、本取り組みを進めていきます。

LCO₂ 船は、回収した CO₂ を地中に安定的に貯留する CCS (Carbon dioxide Capture and Storage) プロジェクトにおいて、CO₂ を安全かつ大量に輸送する手段として将来的な需要拡大が見込まれています。CCS プロジェクトが先行している EU 地域内に続き、今後はアジア域内でも各国政府の推進による CCS プロジェクトの加速が見込まれることから、日本国内においても LCO₂ 船の需要に応じた建造体制の確立が必要となります。

日本シッパードがこれまで培ったあらゆる船種の豊富な建造経験・高度な造船技術力と三菱造船が有する液化ガス輸送船 (LPG・液化石油ガス輸送船、LNG・液化天然ガス輸送船) 建造で培った知見や高度なガスハンドリング技術を、両社が相互に補い合える強みとして生かします。

日本シッパードは、来る CO₂ 排出規制に先行して、LNG 燃料船やアンモニア燃料船の商品化に積極的に取り組んでい

ます。次なる取り組みとして LCO₂ 船の検討を進めることで、業界を一層リードしていきたいと考えています。

三菱重工グループはエナジートランジションの事業強化に戦略的に取り組んでいます。その一翼を担う三菱造船は、従来からのものづくりを主体とした造船に加え、造船を基盤とした海事エンジニアリング技術で国内外の海事産業の発展に貢献することを目指しており、今回の取り組みもその一環です。国内海運各社および国内外のエネルギー関連企業との協働や LCO₂ 輸送実証試験船の建造を通じて、LCO₂ 船の開発および LCO₂ 輸送の事業化を積極的に推進しています。

日本シップヤードと三菱造船は、CCS バリューチェーン構築に必要な LCO₂ 船を世に送り出すことで持続可能なカーボンニュートラル社会の実現に貢献していきます。

LCO₂ 船イメージ動画

<https://youtu.be/EEht1oGg5fU>

以上